

# 大豆情報 3号

令和7年7月24日  
 なんと農業協同組合  
 砺波農林振興センター

J Aなんと管内の播種は5月30日頃から開始し、出芽・苗立ちはおおむね良好で、苗立本数は単作で21,000本/10a、麦跡で17,500本/10aと目標本数（5月下旬～6月上旬播種：14,000～16,000本/10a）を十分確保しています。今後は以下の管理を徹底しましょう。

○培土を確実に2回実施しましょう。

○**畦間かん水**や**病害虫防除**等を徹底し、青立ち防止と収量・品質の向上を図りましょう。

## 1 2回の培土と排水対策の徹底

- 培土は確実に2回実施し、雑草の発生と倒伏を防ぎましょう。
- 培土後にできた溝は額縁排水溝に必ずつなぎ、排水口から確実に排水されるようにしましょう。降雨後に停滞水がある場合は、排水溝の手直しを行いましょう。

## 2 畦間かん水 ～落花・落莢による青立ちを防止～

- 開花期（7月20日頃）から9月上旬までに、3日以上晴天が続き、土壌が白く乾く場合は、**降雨に頼らず積極的に畦間かん水を行いましょう。**
- かん水は**短時間で行い**、ほ場全体に水が行き渡ったから**速やかに排水**しましょう。



ちりめんじわ粒



莢ずれ粒

### 【畦間かん水の効果】

- ① 莢数の確保：落花・落莢の防止
- ② 百粒重の増加
- ③ 品質の向上：ちりめんじわ粒、莢ずれ粒（高温に伴う物理的損傷）の発生防止

## 3 病害虫の基本防除

・株元まで十分に薬剤がかかるように散布しましょう。

	対象病害虫名	防除時期	薬剤名	散布量（10a当り）	注意事項
随時	ウコンノメイガ	7月下旬～8月上旬 ※葉巻が見え始めたとき 1株当り6個以上	ダントツH粉剤DL	4kg	3回以内 収穫7日前まで
			プレバソンフロアブル5	150～300ℓ (4,000倍)	2回以内 収穫7日前まで
基本①	紫斑病 カメムシ類	8月10～15日 ※莢が伸びきった頃	Zボルドー粉剤DL	3kg	3回以内 収穫7日前まで
			ダントツH粉剤DL	3～4kg	
			トライフロアブル	150～300ℓ (1,000倍)	
			スミチオン乳剤		
基本②	8月24～29日 ※莢がパンパンの頃	トライトレボン粉剤DL	3kg	2回以内 収穫14日前まで	
		アミスタートレボンSE	100～400ℓ (1,000倍)	2回以内 収穫14日前まで	

## 4 雑草対策

薬剤名	適用雑草	散布時期	散布量（10a当り）	注意事項
バスタ液剤	畑地	雑草生育期 (収穫28日前まで)	薬剤300～500ml/ 水100～150ℓ	3回以内、畦間処理 ※大豆の莖や莢にかからないように
ザクサ液剤	1年生			

※農薬散布に当たっては、風のない時間帯を選び、周囲の作物に飛散しないように注意しましょう。

帰化雑草（アサガオ類など）を見つけたら、すぐに抜き取りましょう。



気温の高い時間帯の作業を避け、こまめな水分補給と休息を取り、無理のない作業を！

お問い合わせは、JAなんと営農部(62-0261) または 砺波農林振興センター南砺班(32-8147)へ